

令和6年3月21日

保護者様
学校関係者様

渋谷区立富谷小学校
校長 石川 亜由美

令和6年度 学校評価のアンケート結果報告

日頃より、本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

学校評価アンケートの集計結果がまとまりましたので報告いたします。お寄せいただいたご意見を参考に、次年度の教育計画を立てております。今後も、保護者・地域の皆様と共に富谷小学校の教育活動の充実に一層努力を続けてまいります。アンケートへのご協力、ありがとうございました。

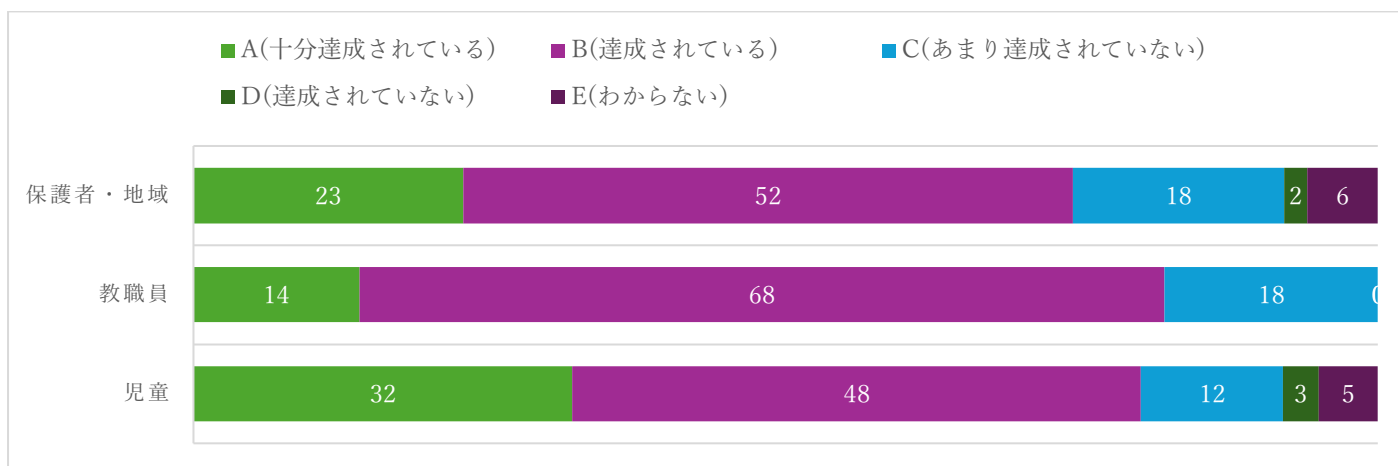
	保護者・学校関係者	教職員	児童(3～6年生)
アンケート実施期間	12月3日～13日	12月3日～13日	児童12月12日～18日
アンケート回答数(回収率)	312件(60%)	27件(100%)	285件(79%)

Ⅰ 新たな学びの実現

(1) 【保護者・地域】 お子さんは、自ら進んで授業をはじめとした学校の学習に取り組んでいますか。

【教職員】 児童は、自ら進んで授業をはじめとした学校の学習に取り組んでいますか。

【児童】 あなたは、自ら進んで授業をはじめとした学校の学習に取り組んでいますか。



自由記述(要約)

- 自ら進んで宿題や学習に取り組む習慣が身につけており、毎日積極的に勉強している。
- 学校の行事や授業などに楽しみながら積極的に取り組んでおり、学びに対する興味が出ている。
- タブレット端末やオンライン教材を利用した学習に積極的に取り組んでおり、デジタルツールの活用が進んでいる。
- △ タブレット端末やスマホを使用した学習は脳の活動を低下させるとの意見があり、低学年には紙と鉛筆を使った学習がよい。
- △ 宿題や学習内容が分かりにくい。また管理がしづらく、家庭での学習が難しい。
- △ 自主学習の取り組み具合は子供によって異なり、すべての子が積極的に学習に取り組んでいる状況ではない。

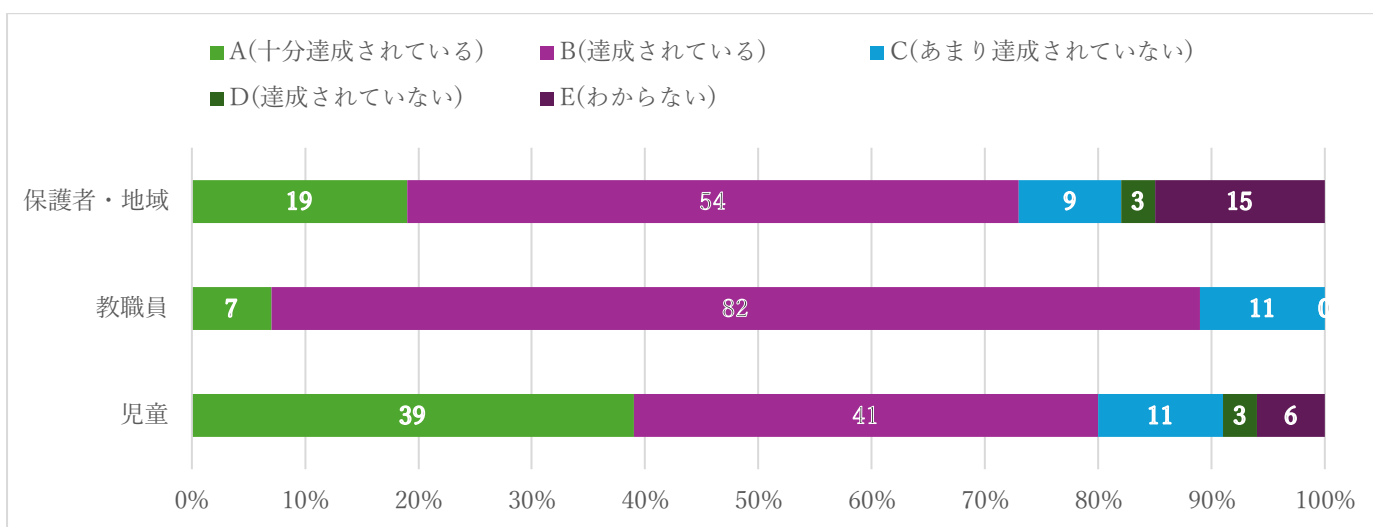
児童が主体的に学習に向かうために「児童の学習への意欲を高める導入の工夫」「児童と共に学習計画を立て、見通しのもてる展開と学習の進め方の指導」「児童自身の自己理解と自身のめあてづくりにつながる振り返り」を取り入れ、児童自身が方法や内容を調整しながら学習を進めていく能力を育てていきます。

家庭学習もその一つとして、児童自身が計画的に学習に取り組むように発達段階に応じて、引き続き指導してまいります。ご協力をお願いします。お子さんの家庭での学習方法についてご相談がありましたら担任や学年の教員にご連絡ください。

(2) 【保護者・地域】学校は、学習の進度や習熟度に応じた授業や学習支援を行っていますか。

【教職員】あなたは、児童の進度や習熟度に応じた授業や学習支援を行っていますか。

【児童】あなたは、授業や学習の内容が分かる・できるようになるまで、自分にあったペースで学習したり、教えてもらったりしていますか。



自由記述（要約）

- 悩んでいるところが見えたらその箇所を繰り返し先生に指導してもらい、モチベーションを保ちつつ進めてくれている。
- テストなどの課題が早く終わったときに、タブレット端末で自習ができるなど、余った時間を個々の学びの時間として活用している。
- それぞれに合った宿題の内容や量を考えてくれている。
- 習熟に合わせた算数のクラスで適切に見てもらえている。
- △ 算数のクラス分けに関して改善の余地があり、塾に通っているかの有無で差が出やすいと感じる。
- △ 授業中に質問がしづらいことがあり、授業だけでは理解が難しい場合がある。
- △ 自主性を重んじる宿題の取り組みに対して、もう少し指導が加わると良い。

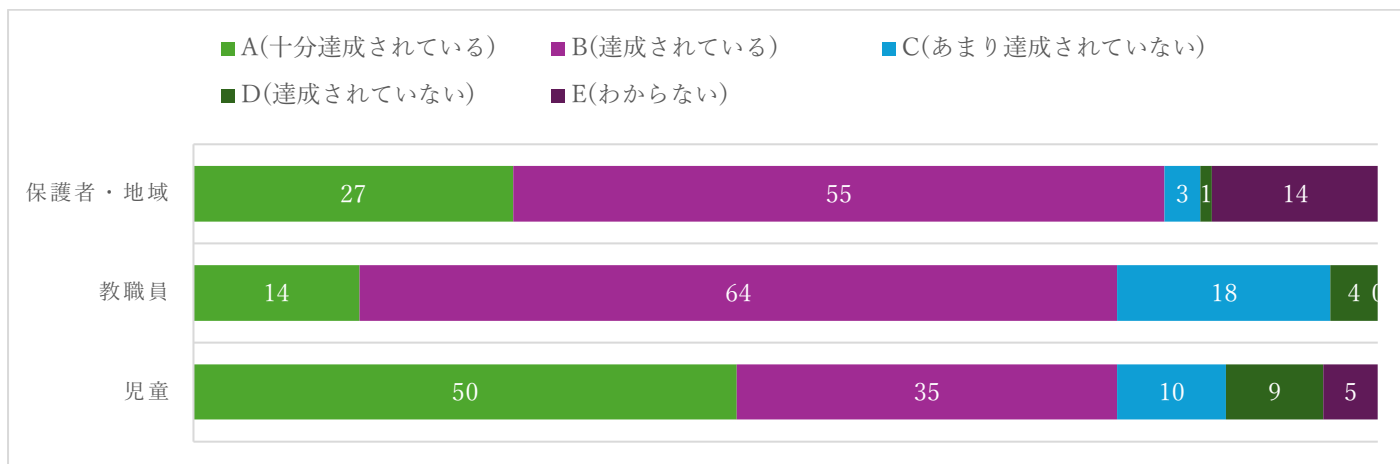
単元ごとのテストや小テスト、ノートやICTでのまとめ、振り返りの確認を通してお子さんの基礎的・基本的な内容の習得状況を確実に把握するよう引き続き努めてまいります。また、お子さんの理解が深まるためのフォローアップをしていきます。

富谷小ではワークテストが早く終わった等の隙間時間は教員が行うことを決めるだけでなく、子供自身が学習内容を決めタブレット端末で Qubena や Yomokka! などを使用して学習を進めるなど、その教科の学びにつながる自学する時間とすることを児童に指導しています。

(3) 【保護者・地域】学校は、子供同士で意見交換したり、調べたりするなど、協働的・対話的な学びがある授業を行っていますか。

【教職員】あなたは、子供同士で意見交換したり、調べたりするなど、協働的・対話的な学びがある授業を行っていますか。

【児童】あなたは、授業の中で、友達と意見交換したり、協力して調べたりしていますか。



自由記述（要約）

- 先生が子供の意見を平等に取り上げてくださるため、子供たちが自信をもって発表でき、自主性や積極性も学べていると感じる。
- シブヤ未来科の活動やグループワークを通じて、多くの意見交換が行われ、協働的な学習が実践されているため、子供たちの他者の発言を聴く能力が高まった印象がある。
- 先生が積極的に子供たちの話し合いをサポートして下さり、様々な意見を聞く機会が提供され、非常に勉強になっている。
- △ 意見交換中にトラブルが発生し、子供たちが悩むことがある。大人がサポートして伝えにくい意見を補助する必要がある。
- △ タブレット端末を使用した学びだけでは偏りが見られるため、図書室の書籍を自ら調べて知識を得ることも教えてほしい。
- △ 話し合いが形式的になり、個々の理解の定着につながっているか疑問がある。一部の子供の意見に引っ張られてしまっている。

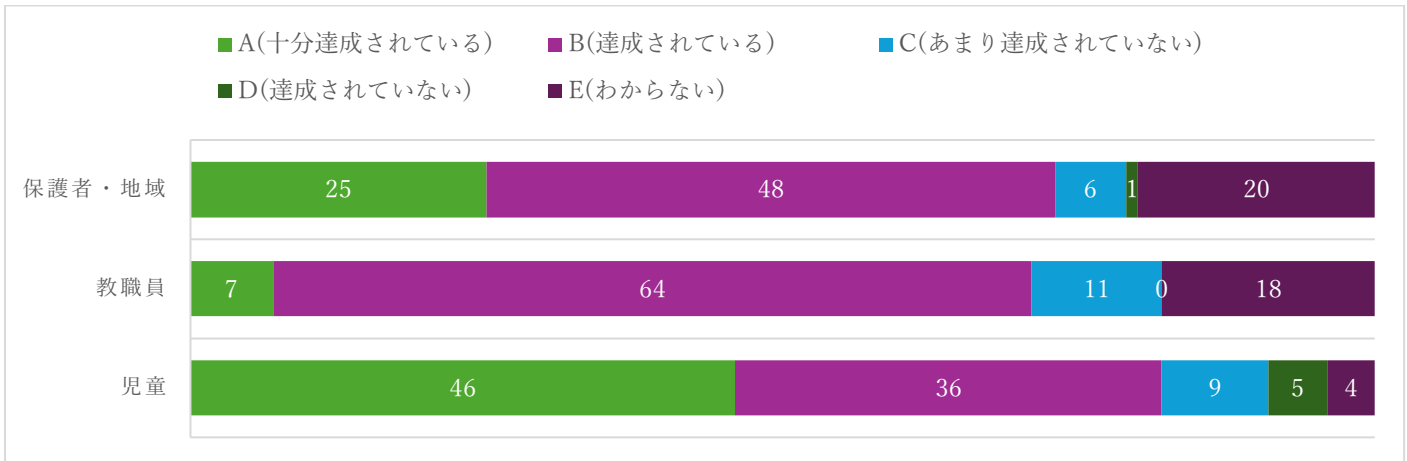
様々な教育活動の中で話し合いの場面を設定し、協働しながら課題解決を図ってきました。お子さんの発達段階に応じて有意義な話し合い活動ができるように支援してきます。

シブヤ未来科(探究の時間)を中心に「情報の収集」の仕方について学習してきました。様々な情報収集方法があり、それぞれに長所、短所があることを学んでいます。状況に合わせた情報収集の方法を選択し、情報整理・分析、課題解決、表現、共有ができるように指導していきます。

(4) 【保護者・地域】学校は、「シブヤ未来科（1・2年生は生活科）」の学習を通して、自ら課題を設定して解決への見通しを考えたり、考えたことを発表したりする学習を推進していますか。

【教職員】あなたは、「シブヤ未来科（1・2年生は生活科）」の学習を通して、自ら課題を設定して解決への見通しを考えたり、考えたことを発表したりする学習を推進していますか。

【児童】あなたは、「シブヤ未来科」の学習を通して、自ら課題を設定して解決への見通しを考えたり、考えたことを発表したりする学習をしていますか。



自由記述（要約）

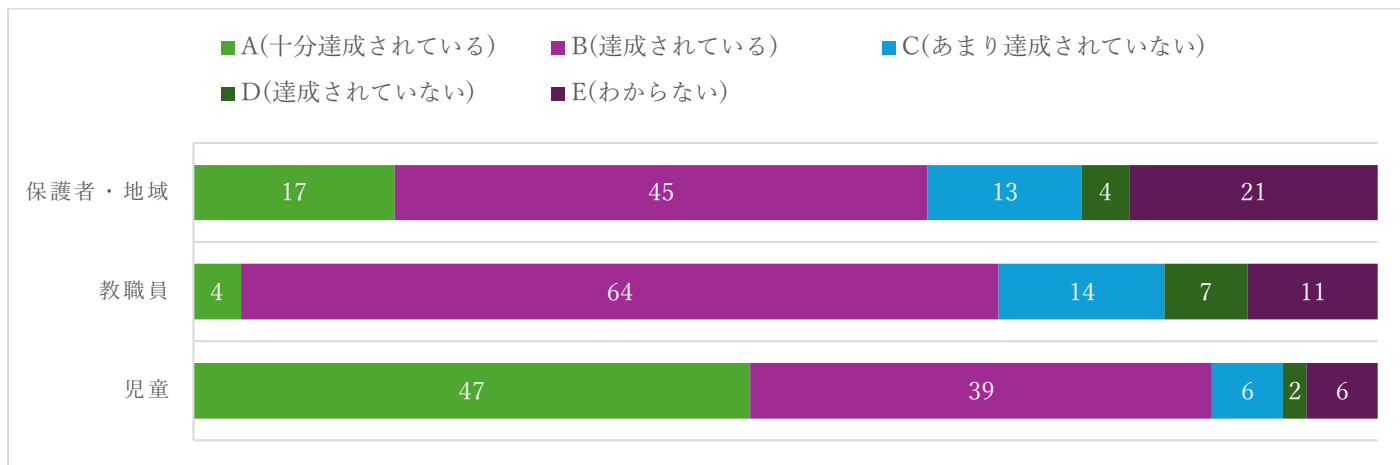
- 子供たちが自ら考えてアクションし、考え方の多様性を学べる機会が提供されている。
- シブヤ未来科の授業では、プレゼンやフィールドワークを通じて子供たちにリアルで豊かな学びの機会がある。
- 子供たちが積極的に参加し、自らの考えを発信する力を養う機会があり、家庭でも学んだことを話してくれるなど、積極的な学習姿勢が見られる。
- △ 子供たちにとってやる事が多く、疲れを感じていることがあり、授業内容が子供の発達にあっているのか疑問に思う。
- △ 親が子供たちの活動を知る機会が少なく、シブヤ未来科の授業内容や達成目標が分かりにくい。
- △ やらされ感が強く、Plan、Do、Check、Actionのサイクルが回っていないように見える。

シブヤ未来科(探究の時間)を中心に「〇〇のために」をテーマに「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の「探究のサイクル」を繰り返しながら身近な社会がより良くなるように探究的な学習を進めてきました。来年度に向けてシブヤ未来科(探究学習)の指導計画を見直し、指導内容の精選、学年間の系統性、各教科との関連を分かりやすくして保護者の皆様に具体的な活動内容や達成目標、成果が伝わるようにしてまいります。

(5) 【保護者・地域】学校は、前出の質問（1）から（4）の授業を推進するために、タブレット端末を効果的に使っていますか。

【教職員】あなたは、前出の質問（1）から（4）の授業を推進するために、児童のタブレット端末を効果的に使っていますか。

【児童】あなたは、タブレット端末たんまつを学習のためによりよく使っていますか。



自由記述（要約）

- 十分使えているので、タブレット端末自体のスペックを上げてほしい。九九のアプリのおかげで楽しみながら自ら学べている。
- 発表に Power Point を使うなど、デジタルネイティブとして慣れていると感じる。入院中もタブレット端末を通じて授業に参加でき、大変助かった。
- 調べものには効果的で、娘はプレゼンやリサーチに適切に使用できている。テスト前にキュービナをやると効果があるように感じる。
- △ 親子共々、タブレット端末の調子が悪く学習が進まないことがあり、紙の方が助かると思う場面が多々ある。液晶割れの修理対応が遅い。
- △ 高学年において授業内容とは関係のないタイミングでタブレット端末に没頭している児童が少なからずいる。タブレット端末は学習以上に遊びに夢中になっていることがある。
- △ タブレット端末と教科書とを併用することでランドセルが重くなり、子供たちの心身への負担が大きいと感じる。また、指だけで操作することで文字の誤認も多く、子供の意欲が削がれる。

お子さんが「タブレット端末は丁寧に扱うもの」「タブレット端末は学習に使うもの」という認識をもてるように繰り返し指導していきます。またタブレット端末の持ち帰りの負担軽減のため持ち帰る教科書の厳選等の配慮をしていきます。

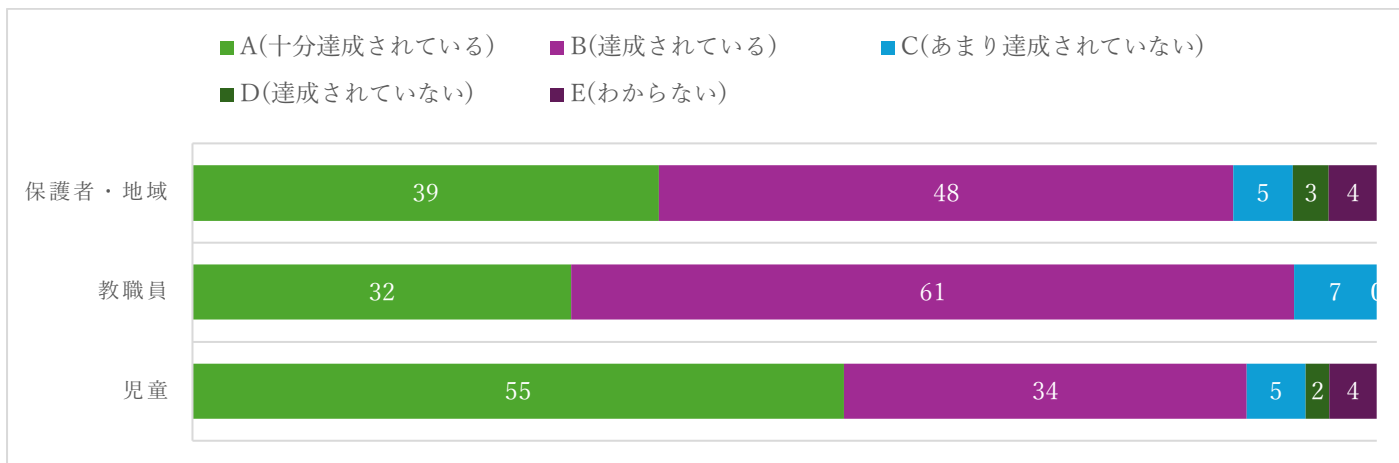
タブレット端末は「使いたい時に使える」ということが重要です。学校で対応できる故障等については今後もできる限り迅速に対応していきます。学校で対応できない故障やトラブル、スペックなどのタブレット端末の要望は学校から区に意見を上げていきます。

2 安心・安全に挑戦できる環境

(1) 【保護者・地域】 お子さんは、安心して学習に取り組むことができましたか。

【教職員】 児童は、安心して学習に取り組むことができましたか。

【児童】 あなたは、安心して学習に取り組むことができましたか。



自由記述（要約）

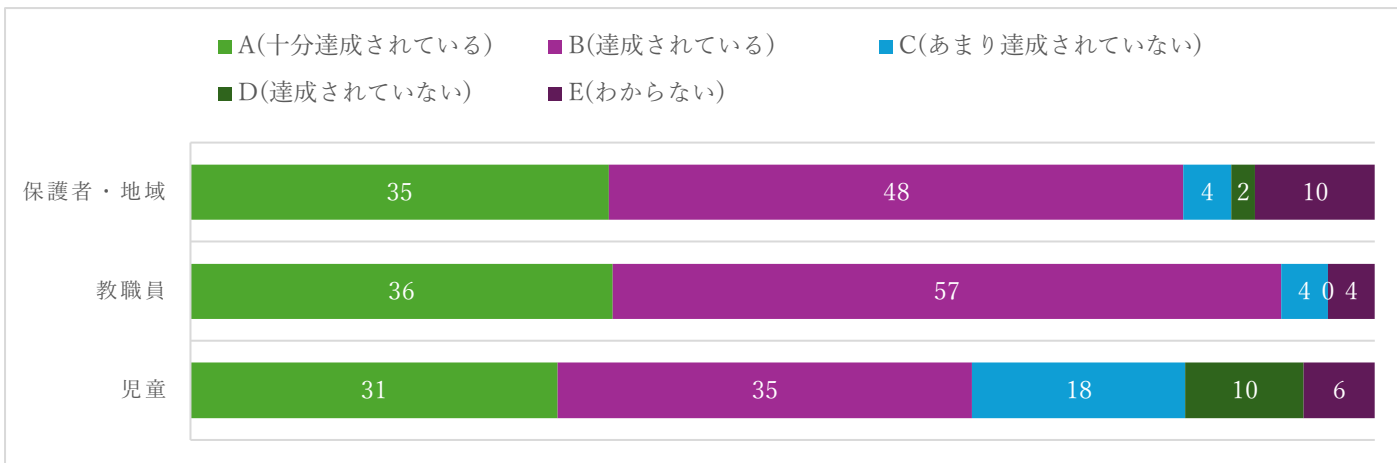
- 分かるところからスモールステップで自信をつけながら進めてくれている。
- 学校での授業は楽しいと本人が言っているので、達成されていると回答した。
- いじめが分かった際、先生方が迅速に適切に対応してくれ解決し、子供が楽しそうに学校に通っている。
- △ クラス内のトラブルを子供から聞くと、安全に過ごせているとは思えないことが多々ある。
- △ 教室内の空気環境が気になる。
- △ 夏休みの宿題キュービナについて、タブレット端末が正確に認識できなかった。

保護者・児童共に8割以上が肯定的な回答でした。すべてのお子さんがより安心して通い、生活・学習できるような学校になるように今後も教職員一同、お子さんに寄り添ってまいります。ご心配なことがある際には、遠慮なくご相談ください。

(2) 【保護者・地域】学校は、お子さんや保護者の相談に誠実に対応していますか。

【教職員】あなたは、児童や保護者の相談に誠実に対応していますか。

【児童】あなたは、困ったことがあったときなどに、学校の先生たちに相談していますか。



自由記述（要約）

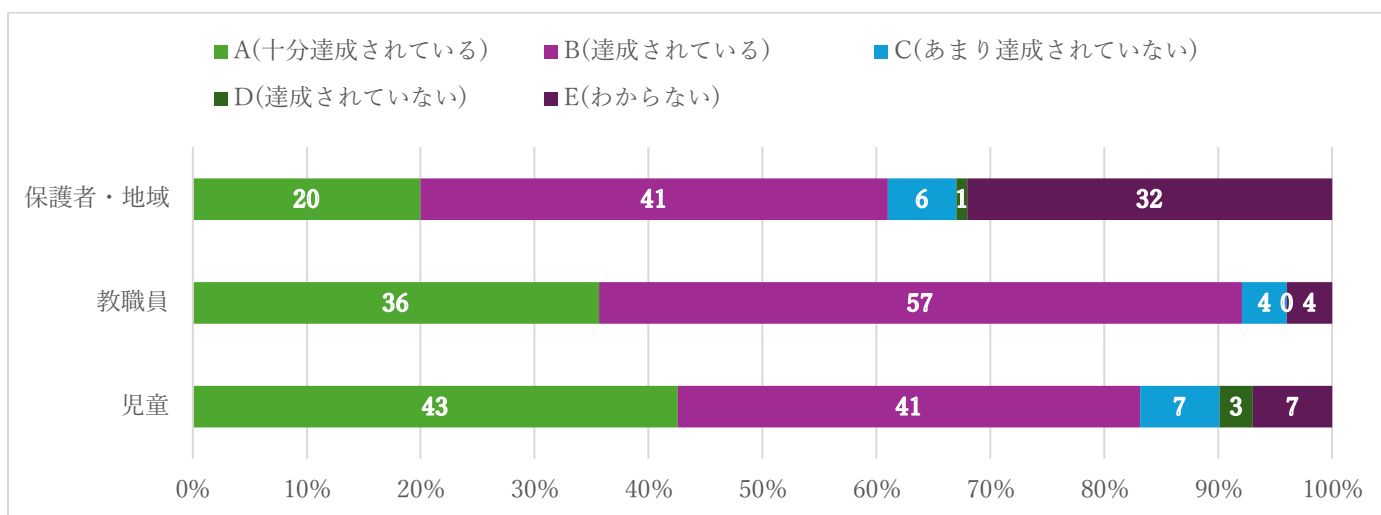
- 学校の先生たちは、子供や保護者からの相談に対して非常に親身に対応してくれるため、安心して相談できる環境が整っている。必要に応じてスクールカウンセラーのサポートもあり、心強く感じる。
- 先生方は常に丁寧かつ柔軟に対応してくださり、子供の個々の特性に合わせてサポートをしてくれるため、子供の成長を見守ることができている。
- 個別相談や面談の際には、先生がしっかりと話を聞いてくれるため、子供の状況や悩みを理解してもらえているという安心感がある。
- △ 学校とのコミュニケーションが主に連絡帳を通じて行われるため、不便に感じる。もう少し柔軟な連絡手段があると助かる。
- △ クラスの人数が増えたことで、先生が一人一人に十分な時間を割けなくなっているように感じる。
- △ 相談をしても、その場限りで終わり、具体的な解決に至らないことがある。

教職員が相談に対応していると感じているのに反し、相談していると回答する児童の割合が低いことに課題を感じています。教員が学級の児童一人一人に1日のうちに1回は話をするなどして児童の様子を把握することを一番に考え、教職員が時間と心に余裕をもって相談に対応できるようにしていきます。機会を捉えて「どの先生でも、どんな悩みでも、いつでも気軽に相談できる」ことを児童に話し、お子さんが悩みを抱えず、相談できる体制をつくっていきます。

(3) 【保護者・地域】学校は、いじめ対応の方針を伝え、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めていますか。

【教職員】あなたは、いじめ対応の方針をお子さんや保護者に明確に伝え、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めていますか。

【児童】あなたは、自分も周りの人も大切にして、「人の話は、最後までしっかりと聞く」「人の嫌がることを言わない、しない」を実行していますか。



自由記述（要約）

- 迅速かつ、最適な対応でいじめが解消したと認識している。また、子供の心配事があった時に十分に対応してもらえたと感じている。
- 保護者会などでいじめを許さない姿勢を明確に打ち出しており、安心感がある。何かあれば学校に相談しようと考えている。
- いじめ防止よりも、楽しいことがあると感じさせる校風があり、良い塩梅で見守ってもらっていると感じる。
- △ いじめは先生が見ていない場で起こることが多く、当事者以外の見解も重要であると感じる。総合的な見解からの判断、対応があると良いと思う。
- △ 方針のお知らせはあるものの、実際にどのようなケースがあり、どのようなアクションがあったのかが不明瞭。いじめの未然防止や早期発見、対応について、把握している範囲では具体的な内容が分からない。
- △ いじめられる子だけでなく、いじている子の救済も考える必要があると感じている。他の保護者の見守りが重要だと思う。

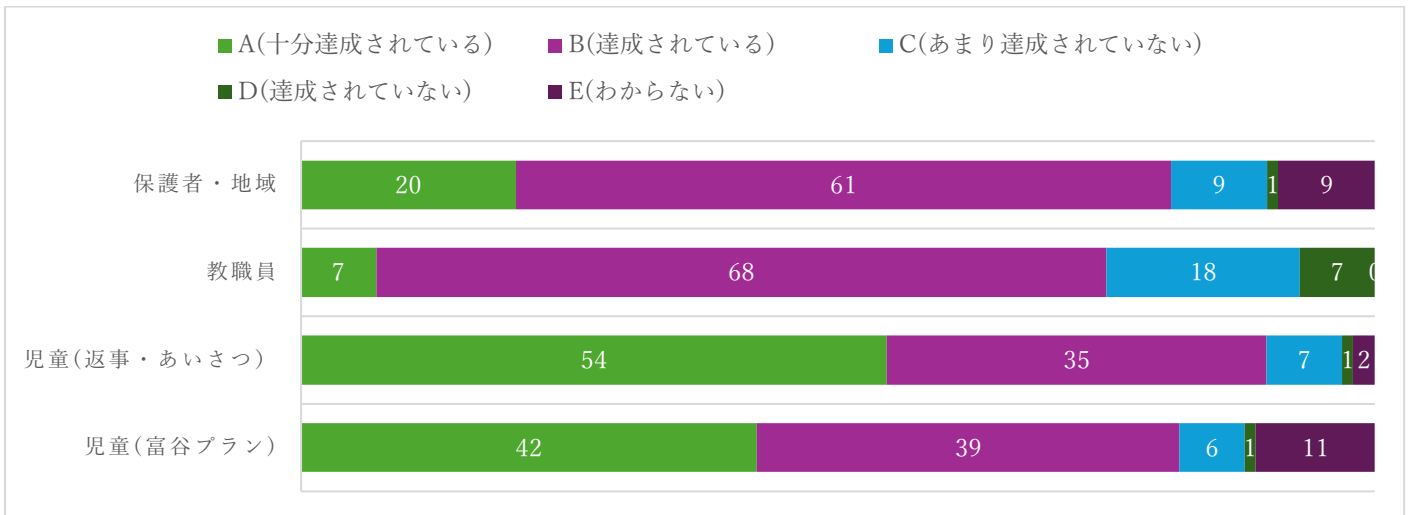
いじめ対応に関する保護者の肯定的な回答は61%にとどまり、分からないという回答が32%ということが課題と感じています。分からない理由は「お子さんがいじめにあっていない・あった子供の話を聞いていない。」であったり「富谷小学校のいじめの対応が分からない」であったりすると考えられます。いじめ防止基本方針の説明を年初の保護者会で行うことを継続するとともにいじめに関する授業の様子や事案があった際の対応の仕方等、いじめ対応の「見える化」を図っていきます。

(4) 【保護者・地域】子供たちは、安心・安全な学校生活を送るために、集団生活に必要なきまりや約束が身に付いていますか。

【教職員】児童は、安心・安全な学校生活を送るために、集団生活に必要なきまりや約束が身に付いていますか。

【児童】あなたは、返事やあいさつを気持ちよくしていますか。

あなたは、安心・安全な学校生活を送るために、「富谷プラン」を守って生活していますか。



自由記述（要約）

- ルールを守り、時間管理を自分で行えているなど、小学生としては十分な取り組みが見られると感じている。また、本人なりに努力している。
- 子供たちが集団の約束事を守ろうという前向きな気持ちをもっており、親や先生に安心して相談できる環境が整っていると考える。
- 富谷プランに示されていることを子供自らが理解し守っていると感じられる。地域全体で子供たちを見守る姿勢がある。
- △クラス内でのトラブルや、特定の子供が力をもっているという話を聞くことがあり、十分に集団生活のルールが身に付いているとは感じられない部分がある。
- △登下校時の安全性に関しては、心配になる場面が見られ、地域全体での見守りが必要であると感じる。
- △持ち物に関するルールが守られていない例があり、持って行ってはいけないものを持参する子供がいることが心配。学年でのルールの統一をしてほしい。

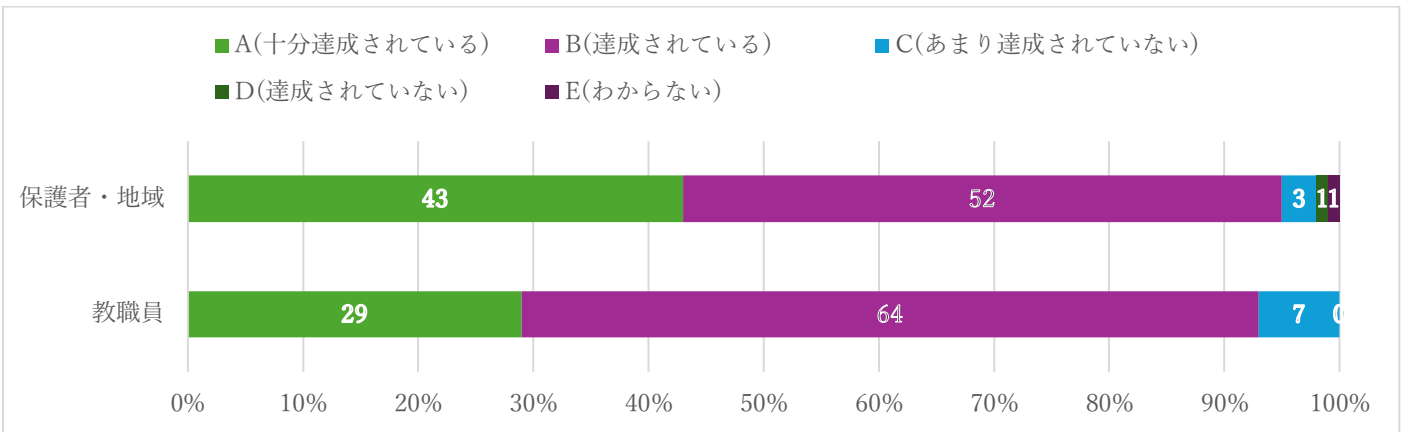
学校に限らず安心・安全に社会生活を送るためには、集団生活のきまりや約束を身に付ける必要があります。これには学校での指導だけでなく、ご家庭の協力が必要です。今後ご協力をお願いします。

返事や挨拶に対するお子さんの肯定的な回答は、89%でした。良好な関係づくりには挨拶が大事であることが浸透してきている結果と感じています。これからは挨拶の意味をさらに広くとらえて「ありがとう」「ごめんなさい」の大切さを指導して学校生活の安心、安全につなげていきます。

3 校務 DX への取組

(1) 【保護者・地域】学校は、学校だよりなどの配布物や調査等について、学校ホームページや Home&school (ホーム アンド スクール) などを活用して、ペーパーレス化を推進していますか。

【教職員】あなたは、学校だよりなどの配布物や調査等について、学校ホームページや Home&school (ホーム アンド スクール) などを活用して、ペーパーレス化を推進していますか。



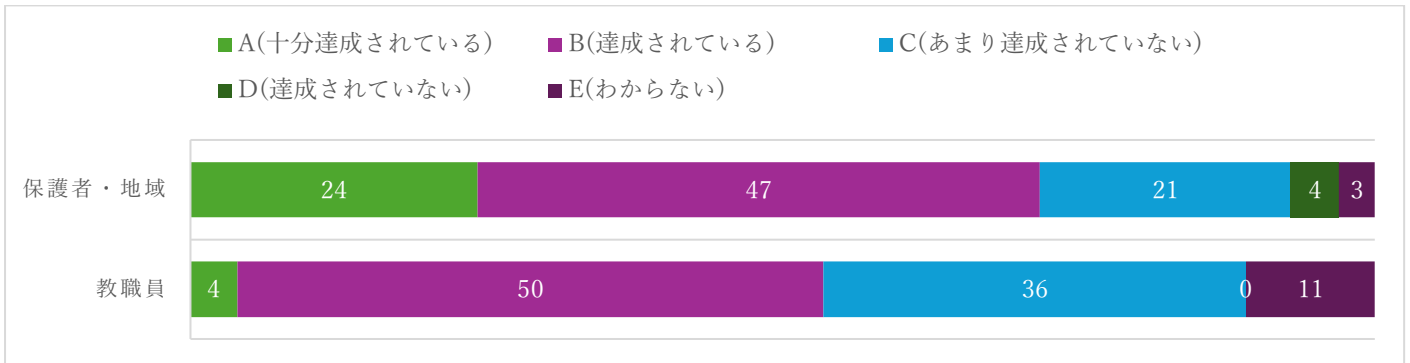
自由記述 (要約)

- 昨年度は紙のお知らせと Home&school のお知らせとが混在していたが、今年度は一本化されて情報を確認しやすくなった。
- デジタル化されていて紙の配布物が少なく、配信された情報はペーパーレスで確認できるので便利である。
- アンケート等が Home&school から回答できるようになり、非常に便利になった。今後もペーパーレスの推進を願う。
- △ ペーパーレス化し過ぎると大事な情報が見落としやすい。重要なものは紙で配布してほしい。
- △ アプリの検索機能などが使いづらく、重要な情報が埋もれがちで後から見直す際に困難がある。
- △ 配信内容や配布物の重要度が分かりづらく、必要な情報が紙の方が見返しやすいつと感がある。

※ 3-(2)と合わせて回答いたします。

(2) 【保護者・地域】家庭は、学校からのおたよりや配布物、調査等において、学校ホームページや Home&school (ホーム アンド スクール) を積極的に活用して確実に情報を得、教育活動に参加していますか。

【教職員】家庭は、学校からのおたよりや配布物、調査等において、学校ホームページや Home&school (ホーム アンド スクール) を積極的に活用して確実に情報を得、教育活動に参加していますか。



自由記述 (要約)

- 情報を得るために役立っている。
- ペーパーレスでお知らせが保護者に直接きて、必要な情報を得られていると感じる。
- △カテゴリー分けが分かりにくく、情報の配信が多すぎて重要なお知らせを見逃すことがある。
- △アプリの使い勝手が悪く、必要な情報を探しづらいと感じる。
- △重要なお知らせの定義が曖昧と感じる。

【3-(1)・3-(2)に関して】

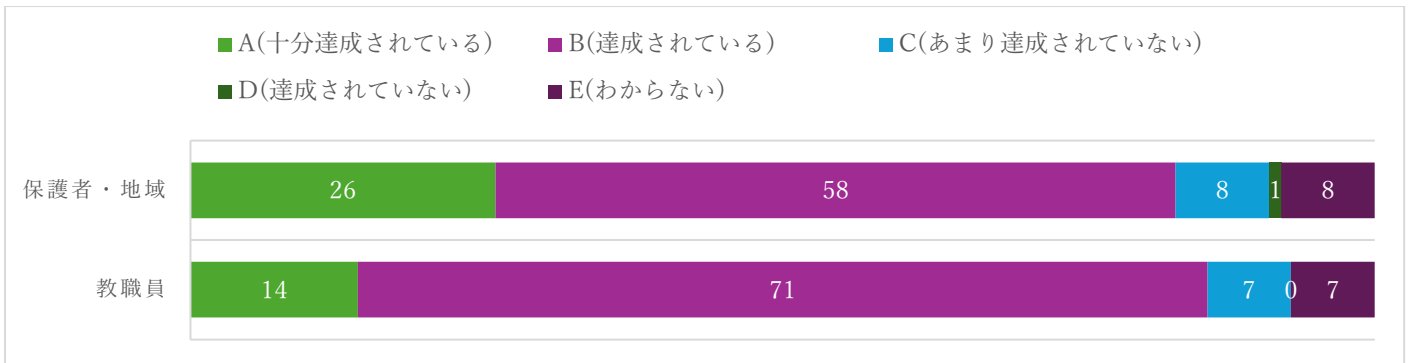
Home&School の使いにくさについて多くのご意見をいただきました。渋谷区の採用のため、お便りとブログを分けるなどは学校独自の改善は難しいところですが、ご意見については引き続き渋谷区への報告にあげていきます。

保護者の皆様が重要な情報を見落とさないようにする学校ができる工夫として、昨年度途中から学校からの情報については【富谷小〇年】を使ったタイトルで配信しています。さらに来年度、学校からの情報については「重要フラグ」を付け配信するようにします。

4 家庭・地域との協働

(1) 【保護者・地域】学校は、教育の方針を分かりやすく伝えていきますか。

【教職員】あなたは、学校の教育の方針を分かりやすく伝えていきますか。



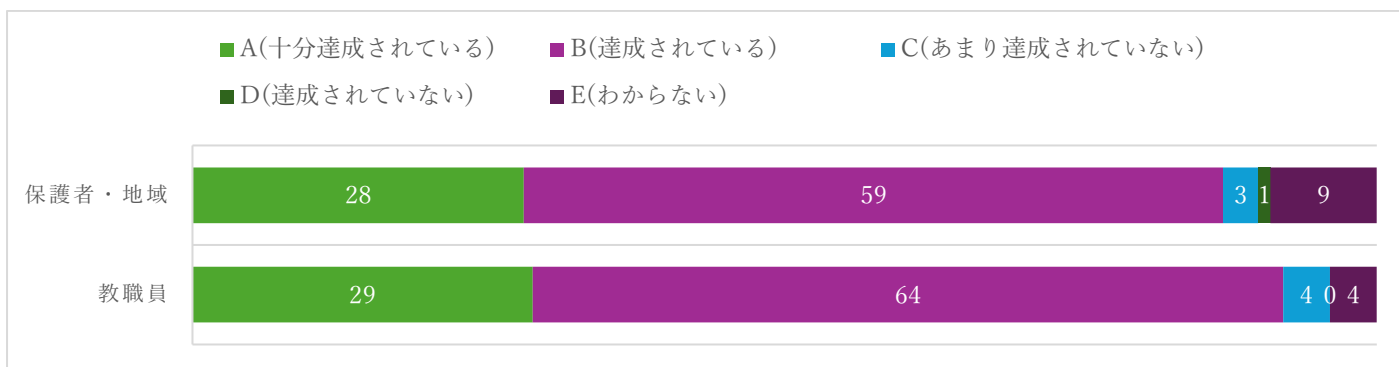
自由記述（要約）

- 3年生からはじまるシブヤ未来科の授業が、今から楽しみに感じている。
- 学習発表会で伝えられたことはとても大きいと思う。
- 保護者会のときなどに詳しく聞けてよい。
- △ 文字情報では質感や感情が伝わりづらく、重要なメッセージを動画で配信するなどの工夫が必要と感じる。
- △ 年度初めの説明は概念的で解釈が多様で理解が難しいと感じる。

保護者の皆様のご理解のもと教育活動を行うことができました。より教育方針や実際の教育活動を分かりやすく伝えられるように工夫をしていきます。

(2) 【保護者・地域】学校は、家庭・地域の理解と協力を得て、教育活動を推進していますか。

【教職員】あなたは、家庭・地域の理解と協力を得て、教育活動を推進していますか。



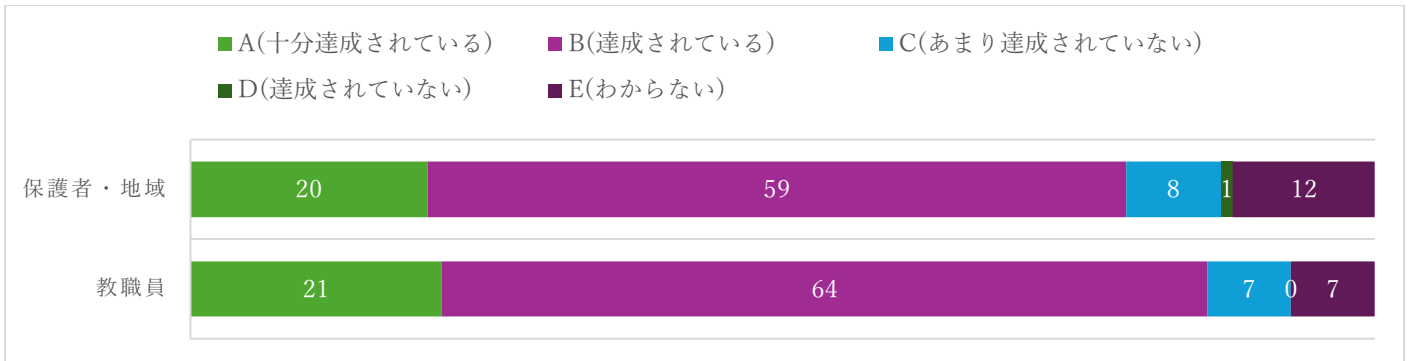
自由記述（要約）

- 地域の情報やイベントが非常に助かっており、まちたんけんなどを通じて児童が楽しんでいることがありがたいと感じる。
- 地域の協力を得たイベントや授業が児童にとって貴重な経験となっているため、今後も続けてほしい。
- △ 先生が忙し過ぎるため、児童一人一人とじっくり向き合うことが難しいのではないかと感じている。

特に生活科やシブヤ未来科(探究の時間)では実際に地域に出て活動することが増えました。その際に見学の引率をしていただくこと、ゲストティチャーとして児童に話していただくこと、図画工作や家庭科等の実技教科の支援をしていただくことなどの保護者・地域の皆様のご協力に感謝しています。

(3) 【保護者・地域】家庭（や地域）は、学校の教育活動に対して（それぞれの）役割を果たし、連携・協力をしていますか。

【教職員】家庭（や地域）は、学校の教育活動に対して（それぞれの）役割を果たし、連携・協力をしていますか。



自由記述（要約）

- Hi アプリを通じて、親が協力できる機会が得られることを感謝している。
- 地域の商店街の協力により、良い課外授業が実施されていると感じる。
- 学校ボランティアや係に参加することで、積極的に連携を心掛けている。
- △ 参加はしているが十分に協力できていないと感じている。
- △ 家庭（や地域）の役割が曖昧で、どのような活動が期待されているのか具体的に分からない。

Hi！アプリでのボランティア募集で多くの保護者の皆様に学校の活動に参加していただき、感謝しております。アプリのより良い運営についてPTA執行部と相談、連携をしていきます。

8月に行われた学校運営協議会主催の「ワックワックとみがや」では多くの地域・保護者の皆様に協力していただき成功を収めました。教員も参加して普段の学校生活では見られないお子さんの顔を見ることができた楽しい機会を得ました。

5 特色のある教育活動

(1) 【保護者・地域】学校の教育活動は、学校の特色が表れたものになっていますか。

【教職員】あなたは、学校の特色を生かした教育活動を行っていますか。

【児童】あなたは、同じ学級や学年の友達、他の学級や学年の人と交流したり一緒に学習したりして、一人一人の「ちがい」を認め、助け合っていますか。

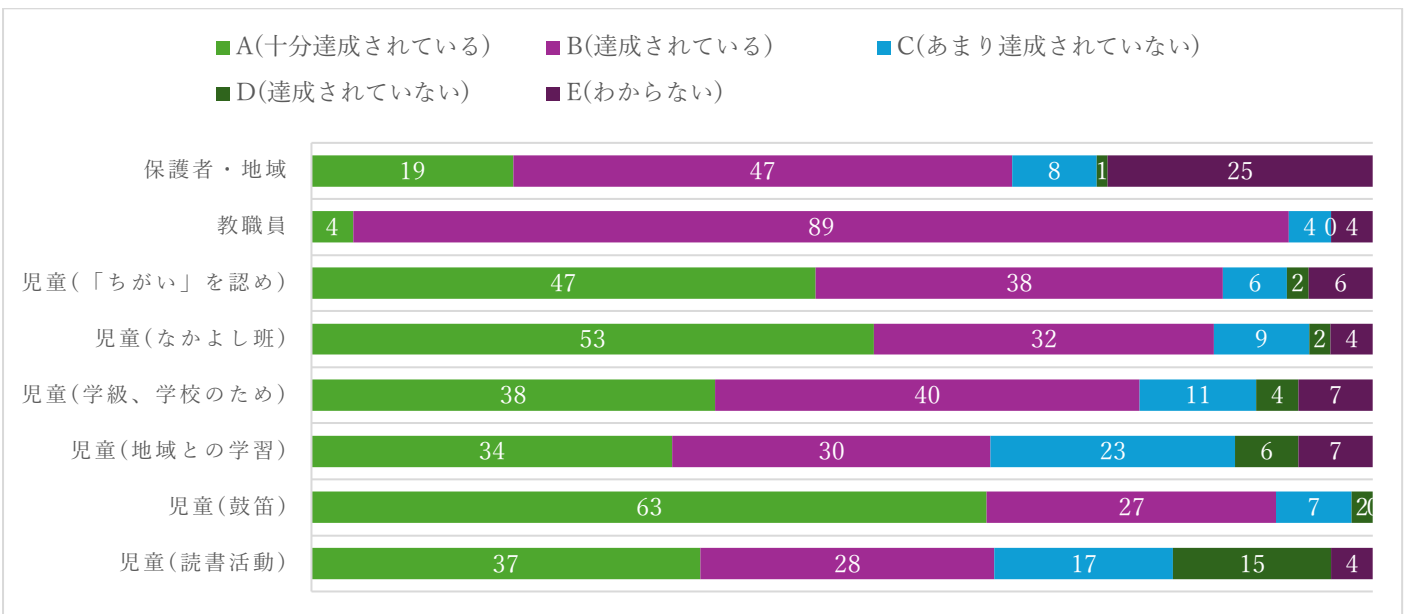
あなたは、学級の係や当番活動、委員会活動（5年生以上）に積極的に参加し、学級や学校のみみんなのために働いていますか。

あなたは、なかよし班活動に積極的に参加し、楽しんでいますか。

あなたは、富ヶ谷の地域に住む人や働く人たちと一緒に学習したり活動したりすることに積極的に参加し、楽しんでいますか。

（6年生のみ）あなたは、鼓笛隊の活動に積極的に参加しましたか。

あなたは、図書室や「よもっか・さがそっか」などを使って、たくさんの本を読んだり、本を使って調べたりしていますか。



自由記述（要約）

- 行事や学校の活動において、工夫やオリジナリティが感じられ、子供たちにとって刺激的な経験となっている。
- 学校の活動を通じて、子供たちが一生懸命で協働的、元気な様子が見られる。
- 学校の教育活動にはオリジナルな取り組みがあり、富谷小学校ならではの特色があると感じる。
- △ 学校の教育目標が子供たちにもっと浸透するとよい。
- △ 他校との比較が難しく、富谷小学校の特色が分からない。または発信が不足している。

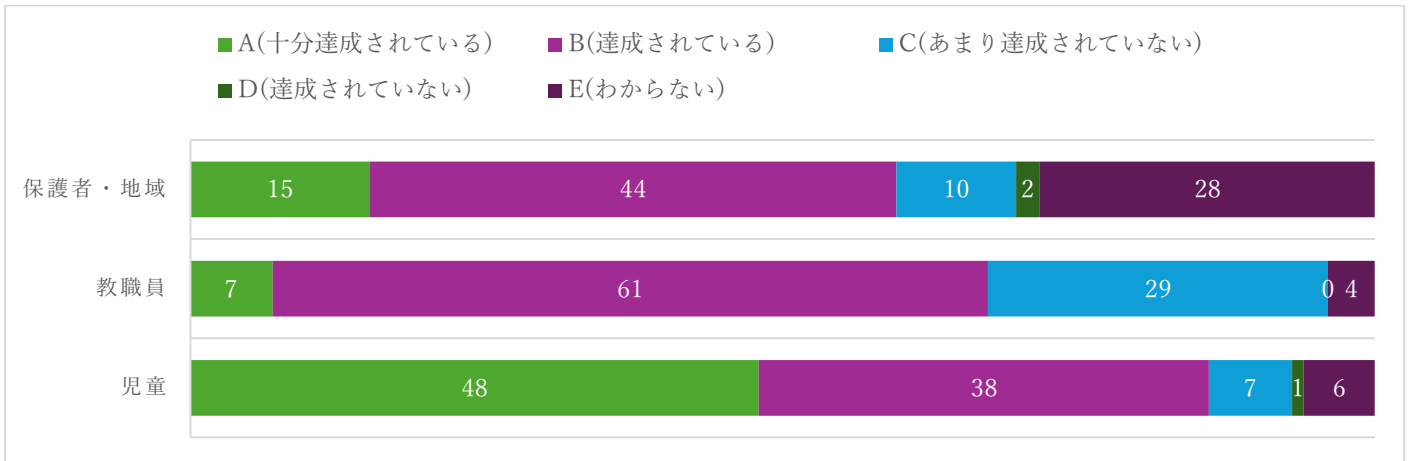
シブヤ未来科(探究の時間)では「〇〇のために」を富谷小学校のテーマにお子さん一人一人が課題をもち取り組んできました。今後は保護者の皆様にその様子が分かるように発信するようになっています。

また、来年度、富谷小学校は創立95周年を迎えます。子供たち、教職員のアイデアを生かし、富谷小学校の95周年のを祝う企画を実行します。

(2) 【保護者・地域】学校は、デジタル・シティズンシップが身につくようにタブレット端末を適切に活用した教育活動を推進していますか。

【教職員】あなたは、デジタル・シティズンシップが身につくようにタブレット端末を適切に活用した教育活動を推進していますか。

【児童】あなたは、タブレット端末たんまつを使う時のルールやマナーを守って上手に使っていますか。



自由記述（要約）

- 子供たちが楽しんでタイピングをするなど、デジタル技術が身に付いてきていると感じる。
- 困った時にタブレット端末を活用する意識があり、検索する力やタブレット端末との適切な距離感を学んでいる。
- デジタル・シティズンシップの重要性を理解し、子供たちがタブレット端末を適切に使えるように取り組んでいる。
- △ 支給されたタブレット端末でアクセス不可なサイトへの接続を試みる子供がいて、有害なサイトへの対策や判断力の指導が必要である。
- △ 学校や家庭でのタブレット端末使用時間が長くなり、ゲームや動画への依存が懸念されるため、適切な使用法の指導をしてほしい。
- △ タブレット端末の使用による人間関係の希薄化が懸念されるため、アナログな学びの重要性を見直す必要がある。

タブレット端末をはじめとした ICT 機器の活用についてデジタル・シティズンシップ教育を計画的に行い、お子さん自身が ICT 機器利用のルールを考え、適切な利活用ができるように指導していきます。また、指導内容やお子さんの実態を保護者の皆様にも共有し、足並みをそろえてデジタル・シティズンシップ教育を進めていきたいと考えています。